

今月の安全運転管理

弱者を守る！それがドライバーの務め！

①思いやり運転を徹底しよう

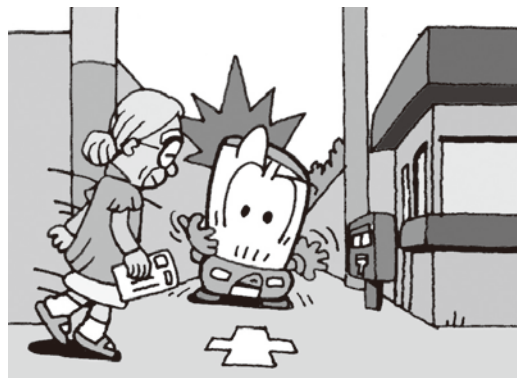
- 高齢者を保護する運転を指導
- 一時停止・安全確認の徹底

②秋の全国交通安全運動

【9月21日(水)～9月30日(金)までの10日間】

※県内一斉大監視 9月27日(火)午後4時～午後6時

- レジャードライブの注意点の周知



高齢歩行者への 事故防止を指導する

九月二十一日(水)から三十日(金)までの十日間、秋の全国交通安全運動が実施されます。一層の安全運転に努めてください。

県警の調べによると、令和三年中の県内の交通事故死者数は、高齢者が約六割を占めています。

また、高齢者の死亡事故の特徴として、次の点が挙げられています。

- ①道路横断中の事故が多い
- ②買物の行き帰りに多発
- ③自宅から五〇〇m以内の近所で事故に遭っている

高齢者は、体力、聴力、視力の衰えから、誤った判断をして事故に至るケースがあります。

また「車は止まってくれるだろう」という油断や思い込みから、車が接近していても横断してくることがあります。

このような高齢者の特性を

理解し、高齢歩行者を発見したときは、思いやりを持って高齢者を保護する運転をするよう指導しましょう。

一時停止・安全確認の 徹底を指導しよう

出合頭事故は「一時不停止」や「安全不確認」といった、本来行うべきことを怠ったことが原因で発生しています。

交差点に進入するときは、「思い込み」を排除して「歩行者や自転車が出てくるかもしれない」と危険を予測することはもちろん、一時停止すべき場所では確実な一時停止の徹底を呼び掛けましょう。

特に見通しの悪い交差点を通過するときは、停止線の手前で一度止まり、交差道路まで少し出たところで再度停止して安全を確認する二段階停止の実践を徹底させましょう。

レジャードライブの 注意点を周知しておこう

九月には二つの祝日があり、前後の土日を含めると三連休が二回あります。

この機会を利用して車でレジャーに出掛ける従業員もいることから、事前にレジャードライブの注意点を周知しましょう。

レジャードライブでは長時間の運転になりがちです。休憩なしの長時間の運転は、疲労が蓄積し漫然運転になりやすくなります。二時間に二回を目安に休憩をとるようアドバイスしましょう。特に帰りは疲れも溜まっていることから、こまめな休憩の徹底を呼び掛けましょう。

また、旅先で気が緩んでつい飲み過ぎてしまうと、翌日は知らぬ間に飲酒運転をしてしまうおそれがあります。翌日運転する場合は、飲酒を控えてください。